

授業科目等の概要

(工業専門課程 航空整備科 共通学科教育) 令和4年度 第1学年

分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			道徳訓育	副読本「人生でいちばん大切な10の知恵」「教師必携」をもとにして社会に役立つ人材となることを学ぶ	1通	34	1	○			○	○			
2	○			一般教養	SPI「国語」のほか、社会科目を取り入れて基礎学力を高めるように学ぶ	1通	34	1	○			○	○			
3	○			一般英語	TOEIC高得点取得を目指し、基本的な文法事項やリスニングを学ぶ	1通	68	2	○			○	○			
4	○			航空英語	航空機マニュアルの基本的な文形や、専門用語を学ぶ	1通	34	1	○			○	○			
5	○			航空法規	航空整備士に必要な関係法規を理解させる	1通	68	2	○			○	○			
6	○			航空力学	流体力学、空気力学の基礎及び、飛行機の特長、諸現象について理解させる	1通	105	3	○			○	○			
7	○			航空機構造学	飛行機の構造、装置、各種システムの概要を理解させる	1通	102	3	○			○	○			
8	○			航空機材料学	航空機に使用されている材料の規格、性質について理解させる	1通	68	2	○			○	○			
9	○			発動機学	発動機の基礎知識、構造、作動について理解させる	1通	136	4	○			○	○			
10	○			航空電気学	航空機の電気に係る基礎知識、理論及び、装備品、各システムについて理解させる	1通	102	3	○			○	○			
11	○			航空計器学	航空機用計器の構造、機能、取扱及び、無線機器の動作原理、運用について理解させる	1通	102	3	○			○	○			
12	○			基本技術	航空機の整備に必要な基本技術の知識を習得させる	1通	204	6	○			○	○			
合計				12 科目		1057単位時間(31単位)										
卒業要件及び履修方法									授業期間等							
成績が可以上。欠課時数が総実授業数の10%以内。 全単位を取得すること。									1学年の学期区分				2期			
									1学期の授業期間				17週			

(工業専門課程 航空整備科 一等航航整備士養成コース) 令和4年度 第2学年

分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			道徳訓育	副読本「レッドブック」「教師必携」をもとにして社会に役立つ人材となることを学ぶ	2通	34	1	○			○	○			
2	○			システム実習(学科)	C172 の各システムの構成、機能、作動を座学にて理解させる	2通	24	1	○			○	○			
3	○			発動機実習(学科)	ピストンエンジンの機能及び、プロペラの理論等を座学で理解させる	2通	6	1	○			○	○			
4	○			装備品実習(学科)	航空機用計器、電気装備品、無線航法機器の構造、動作原理について座学で理解させる	2通	12	1	○			○	○			
5	○			航空機取扱(学科)	C172 の運航技術管理について座学理解させる	2通	12	1	○			○	○			
6	○			基本技術Ⅱ(法の実務的運用)	航空整備士に必要な関係法規の実務を理解させる	2通	54	1	○			○	○			
7	○			システム実習	整備に必要な作業・検査についての基本技術の習得と、C172 の各システムの構成、機能、作動を理解させる	2通	143	4				○	○	○		
8	○			発動機実習	ピストンエンジンの構造、機能及び、プロペラの理論、構造、機能を理解させる	2通	94	2				○	○	○		
9	○			装備品実習	航空機用計器、電気装備品、無線航法機器の構造、動作原理について理解させる	2通	110	2				○	○	○		
10	○			航空機取扱	C172 の運航整備業務と技術管理について理解させる	2通	134	3				○	○	○		
11	○			基本技術Ⅱ	航空機の整備技術の基礎をなす基本作業全般を理解させる	2通	391	12				○	○	○		
合計				11科目		1926 単位時間(58単位)										
卒業要件及び履修方法									授業期間等							
成績が可以上。欠課時数が総実授業数の10%以内。 全単位を取得すること。									1学年の学期区分				2期			
									1学期の授業期間				17週			

(工業専門課程 航空整備科 一等航空運航整備士コース JAL) 令和4年度 第3学年

分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			大型機整備基礎実習(機体)	大型機の機体構造及び各システムの概要を理解する。	3通	244	8			○	○	○	○		○
2	○			大型機整備基礎実習(電子装備品)	電気・電子装備品の機能、構造等を理解し、実機での指示、警報等を理解する。	3通	201	7			○	○	○	○		○
3	○			大型機整備基礎実習(タービン発動機)	タービン発動機の理論、基礎的構造、機能を機材を使用して理解する。	3通	138	4			○	○	○	○		○
4	○			大型機整備基礎実習(取扱)	運航業務に必要な知識、技術及び法的処置などを理解する。	3通	119	3			○	○	○	○		○
5	○			大型機整備基礎実習(実務教育)	実際の大型機を使用して各システムの作動、整備方法を理解する。	3通	210	7			○	○	○	○		○
合計						5 科目		912単位時間(29単位)								
卒業要件及び履修方法									授業期間等							
成績が可以上。欠課時数が総実授業数の10%以内。全単位を取得すること。									1学年の学期区分				2期			
									1学期の授業期間				17週			

(工業専門課程 航空整備科 一等航空運航整備士コース ANA) 令和4年度 第3学年

分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			大型機整備基礎実習(機体)	大型機の機体構造及び各システムの概要を理解する。	3通	105	3			○	○	○	○		○
2	○			大型機整備基礎実習(電子装備品)	電気・電子装備品の機能、構造等を理解し、実機での指示、警報等を理解する。	3通	105	3			○	○	○	○		○
3	○			大型機整備基礎実習(タービン発動機)	タービン発動機の理論、基礎的構造、機能を機材を使用して理解する。	3通	138	4			○	○	○	○		○
4	○			大型機整備基礎実習(実務教育)	実際の大型機を使用して各システムの作動、整備方法を理解する。	3通	564	19			○	○	○	○		○
合計						4 科目		912単位時間(29単位)								
卒業要件及び履修方法									授業期間等							
成績が可以上。欠課時数が総実授業数の10%以内。全単位を取得すること。									1学年の学期区分				2期			
									1学期の授業期間				17週			